

安中市 議会だより

◆発行日 平成24年10月30日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 碓氷印刷



西横野小学校 (秋季大運動会)

今年度秋季大運動会は、「つなげよう 団結力と心の輪」をスローガンに多くの保護者の皆様や各種団体の皆様にご来場をいただき開催されました。

定例会のあらまし

平成二十四年安中市議会第三回定例会は、九月三日から九月十九日までの十七日間の会期で開催されました。
この定例会に市長から提出された議案は、専決処分の承認や条例の一部改正など十件、平成二十三年度決算関係が九件、あわせて十九件が提出されました。

◇3日〓本会議

会期の決定、議案十八件を上程(内三件を即決)。

決算審査特別委員会を設置、議案を各委員会に付託。

◇5日〓決算審査特別委員会

◇6日〓決算審査特別委員会

◇10日〓総務文教常任委員会

◇11日〓福祉民生常任委員会

◇12日〓経済建設常任委員会

◇13日〓本会議 一般質問

◇19日〓本会議

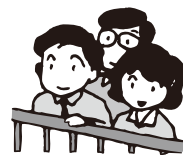
請願・陳情審査報告、委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案十六件を原案可決。(追加上程一件を含む)意見書案二件を可決、一件を否決、閉会。

一般質問



議会を傍聴しましょう!

次の定例会市議会は、
12月6日～12月18日
までの予定です。



今定例会における一般質問は、
9月3日に行われ、11名の議員が
市政全般について、当局の所信を
ただし、活発な議論が展開されま
した。

質問者全員の質問と答弁の要旨
を質問者の原稿に基づき発言順に
掲載しています。

東京電力福島第一原子力発電所 事故について

民主・社民クラブ 川崎 文雄

質問

原発の事故から一
年が経過し、二十キ
ロ圏の住民を含め、十六
万人も避難しています。
収束には三十年以上もか
かり、除染、補償には数
十兆円にも達する費用が
必要です。それでも、再
稼働していく政府は国民
無視で、財界に気兼ねし
ているだけです。脱原発
に向け、再稼働を止めて
いくべきです。市内に大
量に降った放射性物質の
対策を伺います。①市内
の汚染状況②浄水場の汚
染汚泥管理について③市
内の農業生産物検査につ
いて④放射性物質の検査
機器貸出し、使用につ
いて伺います。

答弁

①市内の汚染状況
の調査は、学校、保
育園等を中心に、百十三
点を継続的に行っていま
す。除染は九箇所実施し、
費用は三百五十四万九千
円で、土砂入れ換え天地
返しを二千二百六十五㎡
行い、側溝の土砂撤去は

百二十八㎡です。②八千
ベクレルを超える発生土
は約百トンあり、「指定
廃棄物」として、国の責
任による処分となります。
現状では仮置場として、
久保井戸浄水場内に保管
するための工事を予定し
ています。③二十四年度
産米の検査について、松
井田町中心に何点か決め
て実施し、結果が出れば
出荷自粛解除となります。
④機器の貸出し状況は、
六月八十八件、七月七件、
八月八件です。食品検査
機の使用は、十月より一
日五検体で始めます。



食品放射性物質測定器

防災対策・国民宿舎「裏妙義」・ 市営墓地について

民主・社民クラブ 小宮 ふみ子

質問

災害に強い地域づくりに
ついて

五年間で三八・四％減。
この五年間の運営費の不
足補てん額は八千二百三
十九万円となりました。
運営検討委員会、十二名
の委員で、国民宿舎「裏
妙義」の業務全般につ
いて検討しています。

防災計画の中に掲げ
ている地域での自主防災
活動について伺います。

市営墓地建設計画につ
いて

市内で自主防災組織
が六組織設立。発足した
ばかりの組織がほとんど
です。組織や資機材の整
備を進めています。

地域の協力により、
候補地の要望書が出てい
ます。今後、候補地の選
定をどうするのか。

外国人に対して避難
支援体制は整っておりま
せん。今後、通訳の派遣
や分かりやすいガイドブッ
クを検討していきます。

候補地は要望書二カ
所、口頭三カ所。内部協
議と地域住民に相談し、
協議する手順が必要です。

指定管理者制度に移
行後の利用状況と今後に
ついて伺います。

国民宿舎「裏妙義」につ
いて

平成十九年度から管
理・運営を指定管理者で
行っています。利用者は
平成十九年度は九千四百
六十八人、平成二十三年
度は五千八百三十三人。



国民宿舎「裏妙義」

再生可能エネルギー普及促進・防災計画と対策・空き家対策について

平成の会 齊藤 盛久

再生可能エネルギー普及促進について

問 総合的にとらえた市の将来を見据えた新エネルギー対策を伺います。

答 再生可能エネルギーの普及促進は間違いなく必要であり、様々な施策を検討していきます。

問 安全な電力確保で、小水力発電等が有効と思うが、見解を伺います。

答 太陽光発電の他に市の特徴を生かすのは小水力発電だと思います。現在、国交省の所管でない水路等での設置の可能性について調査しています。エネルギーの地産・地消について

問 太陽光発電で余った電力を売電しないで夜間でも使えるように蓄電池付太陽光発電の取組みについて伺います。

答 停電時の電力不足に対応できるので、蓄電方式を一般家庭にも普及すべく検討していきます。蓄電池を購入する時



住宅用太陽光発電

に補助金を交付している自治体もあるが、市の対応について伺います。

答 蓄電池の補助金については、太陽光発電の補助金と併せて検討していきます。

問 災害時の避難所に独立型太陽光発電の設置について見解を伺います。

答 災害時の停電等にも対応でき、必要性は十分あるので関係部署とも相談しながら計画的に行っていきます。

その他、防災計画と対策について、空き家対策について質問しました。

公立碓氷病院・大河ドラマに関連する観光振興について

民声クラブ 佐藤 貴雄

碓氷病院のクレーム対応について

問 院内にある意見募集用紙の運用とクレーム統計について伺います。

答 投書は代表者会議にて改善策を協議し、昨年度は四十二件でした。昨年度のクレームは、待ち時間の長さ九件、職員への不満七件、他でした。

問 今後も地域医療の拠点として信頼される病院であるよう要望します。公立碓氷病院運営協議会について

問 会の概要を伺います。

答 役割は病院の効率的な運営と市民が要望する医療の提供です。委員は学識経験者四人、医師会員二人、病院長・保健福祉部長の計八人で改革プランの評価も行います。

問 昨年度、碓氷病院の繰越欠損金は十億円を超えました。運営協議会には、市民意見に基づいた病院改革を期待します。「襄・城ヒストリート」

山ヒルの異常発生状況・介護保険について

日本共産党安中市議団 櫻井 ひろ江

山ヒル被害予防と防除対策について

問 十数年前から山ヒルが異常発生し、日本中で住民やハイカーなどの被害が急増し、当市でも、今年の夏、原水爆禁止平和大行進で、旧国道十八号を碓氷峠から歩いた人が何人も被害にあいました。当市の山間部は観光地として重要な地域です。観光客等が被害にあわないよう注意を喚起することや防除対策、被害の拡大を防ぐ対策を伺います。

答 過去十年、山ヒルの生息域が拡大されたなどの県の報告です。原因は、山ヒルが吸血のために付着した野生動物が山から里地へと進出したためと考えられます。

問 今後の山間部は観光地として重要な地域です。観光客等が被害にあわないよう注意を喚起することや防除対策、被害の拡大を防ぐ対策を伺います。

答 過去十年、山ヒルの生息域が拡大されたなどの県の報告です。原因は、山ヒルが吸血のために付着した野生動物が山から里地へと進出したためと考えられます。

問 今後の山間部は観光地として重要な地域です。観光客等が被害にあわないよう注意を喚起することや防除対策、被害の拡大を防ぐ対策を伺います。

答 過去十年、山ヒルの生息域が拡大されたなどの県の報告です。原因は、山ヒルが吸血のために付着した野生動物が山から里地へと進出したためと考えられます。



「襄・城ヒストリート」案内板

山ヒル被害予防と防除対策について

問 十数年前から山ヒルが異常発生し、日本中で住民やハイカーなどの被害が急増し、当市でも、今年の夏、原水爆禁止平和大行進で、旧国道十八号を碓氷峠から歩いた人が何人も被害にあいました。当市の山間部は観光地として重要な地域です。観光客等が被害にあわないよう注意を喚起することや防除対策、被害の拡大を防ぐ対策を伺います。

答 過去十年、山ヒルの生息域が拡大されたなどの県の報告です。原因は、山ヒルが吸血のために付着した野生動物が山から里地へと進出したためと考えられます。

問 今後の山間部は観光地として重要な地域です。観光客等が被害にあわないよう注意を喚起することや防除対策、被害の拡大を防ぐ対策を伺います。

答 過去十年、山ヒルの生息域が拡大されたなどの県の報告です。原因は、山ヒルが吸血のために付着した野生動物が山から里地へと進出したためと考えられます。

問 今後の山間部は観光地として重要な地域です。観光客等が被害にあわないよう注意を喚起することや防除対策、被害の拡大を防ぐ対策を伺います。

答 過去十年、山ヒルの生息域が拡大されたなどの県の報告です。原因は、山ヒルが吸血のために付着した野生動物が山から里地へと進出したためと考えられます。

住みにくい環境作りに努力します。

問 介護保険における地域包括ケアについて

答 政府が目指している地域包括ケアの目玉である「定期巡回・随時対応型訪問介護・看護」は、今の制度ではサービスも不十分で、参入事業者もおらず、地域包括ケアに値しません。これをしっかりとりに伝えるべきです。

問 今後、国などからのサービスについての調査があると思いますので、問題点、課題などを報告したいと考えています。



山ヒル注意看板

市の公共交通施策について

清風クラブ 柳 沢 浩 之

JR信越線を軸とした交通施策について

問 県は、地域の活性化を目指して鉄道網活性化

答 公共交通の利用促進や活性化の観点から参加しています。

問 鉄道の利便性を高める施策として駐車場の整備が必要ですか。

答 信越線の駅利用を目的とした無料駐車場は、松井田駅が約百台、西松井田駅が約百五十台、横川駅が約二十台の駐車が可能となっています。

問 磯部駅の南側広場に駐車場を整備すれば北口の混雑緩和につながると思いますか。

答 都市計画マスタープランや都市計画道路網の見直しの中で検討していきます。



磯部駅南側広場

問 観光の観点から、信越線の活性化策として、本市の観光施策について伺います。

答 信越線を活用した観光ツアーを取組み、歴史・自然・文化等の特色と回遊性に富んだ観光事業を推進していきます。

問 駅前駐車場が整備され利便性の高いバスが発着されれば市民の方々が身近に感じ利用しやすくなると思いますが、本市の考え方を伺います。

答 公共交通は重要であり利用者のニーズに合った体系に努力します。

省電力社会で市の電力確保対策や

省エネ対策について

公明党 上 原 富士雄

メガソーラー発電について

問 「原発は安全」との思いは崩壊しました。安中市に市有地を含む民間

答 クリーンエネルギー研究所がローズベイC・Cの敷地及び、市有地(一万八千二百m²)を活用。発電所全体で毎時四百三十一万六千七百八十二KW、年間約千百世帯分の発電計画です。

問 企業が発電した再生エネルギーの買取り制度がスタート、予想される売電価格・建設費用・市有地の賃料を伺います。

答 売電は算定で、年間一億五千万円、建設費は約十二億円と伺い、市有地の賃料は、年間五十円〜七十円で交渉中です。

問 県内の自治体も省エネ対策として防犯灯のLED化を進めています。市内のLED化の現状と、



メガソーラー発電予定地

設置費用や電気料金の従来との比較を伺います。

答 七灯を設置した地域があります。従来は二万五千円程、LEDは四万円前後です。電力は六割程で市内六千本、全て交換した場合、年間約三百万円の節約になります。

問 省庁が勧めるE^エS^エC^コO事業の検討、及びLED防犯灯の設置補助金の考えを伺います。

答 地元業者を優先するE^エS^エC^コO事業の導入が可能か知恵を絞ります。次年度からの補助金の導入を検討します。

電力料金値上げに伴う本市の

取組み・学校教育について

平成の会 今 井 敏 博

学校教育について

問 いじめの実態把握のための学校の取組みについて伺います。

答 担任は日常の子供の観察を細かく行い、人間関係の把握に努め、生活記録ノート等により情報交換を行っています。また教科担当、養護教諭、スクールカウンセラーが連携し複数の目で子供の観察に努めています。

問 いじめの認識把握について教職員の意識に問題はないのか伺います。

答 子供達からいじめに関する訴えがあった時は、軽視せず良く話を聞き、必ず事実関係を確認することが必要であり、いじめはどの学校にも、どの学級にも起こりうると思えることが大切です。従って良好な人間関係が保たれていてもいじめは起こらないと安易な認識をせず、きめ細かく観察を続けることが大切です。

「いじめは人間として絶



カウンセラー相談室

対許されない行為である」との信念を持って全ての教職員が日頃の指導に当たっています。

問 子供が楽しく安心して過ごせる学校環境作りのための教職員の配置について伺います。

答 子供の悩みに適切に対応する専門家としてスクールカウンセラーの配置が県費で行われています。二つめとして市費による学習支援の支援員の配置、さらに学習指導、生徒指導のための教員の増員をしています。

他一項目質問しました。

障がい者の支援・本市での廃棄物 処理場計画について

ふおれすと 高橋 由信

災害時要援護者避難支援体制の進捗状況について

問 昨年六月、九月の一般質問につづいて、要援護者名簿の整備及び個別計画の策定状況・要援護者支援班の増設・手話グループを班編成に加える・自主防災組織への協力依頼について伺います。

答 要援護者名簿整備状況は群馬県の補助事業を受け要援護者台帳システムを進めています。その他の項目については、要援護者台帳の整備後に検討します。

問 昨年の質問から進まない理由は何か伺います。

答 介護高齢課、福祉課、子ども課、社協、安全安心課の連携や情報の共有が進んでいない為です。

要望 安心安全課と危機管理室が一緒の現体制では難しいので、部局横断的なプロジェクトを早急につくり進めてもらいたい。

問 福祉避難所の指定は進んでいるか伺います。

答 福祉避難所の指定の要件を満たした避難所はないが今後、検討します。

問 自主防災組織の設置状況についてはどうか。

答 現在、六組織です。

要望 県内各地での自主防災組織の活動紹介をしたり、年次計画を作成し、しっかりと進めてほしい。

市内公共施設のバリアフリー化について



バリアフリー化された公共施設

問 公共施設を総点検しバリアフリー総合計画を策定したらいかがか。

答 計画の策定には関係部署と協議が必要です。他一項目質問しました。

問 外部被曝を防ぐために今なお測定値の高い箇所を再調査し、高い箇所を確認しているか伺います。

答 比較的高い箇所については、一部ですが簡易測定器に替わり、エネルギー補償型の空間放射線量測定器で、再度の測定を行っています。

問 普通の家の雨どいの下など高い箇所が多く残されています。市民にわかり易く示す、除染マニュアルをつくるのが必要ではないか伺います。

答 自分で除染したいとのことと方法で文章で示してほしいとの要望があれば、対応していきます。

問 除去した汚染土を敷地内で天地返しなどできる方には、穴を掘って埋め戻しなど、下仁田町のように緊急雇用制度など行ったらどうか伺います。

答 埋土による放射線の遮へい効果は、10cmで七

放射能除染対策について

日本共産党安中市議員 金井久男

問 内部被曝を防ぐために

答 内部被曝とは、体内に取り込んだ放射性物質によって影響を受ける、特に子どもたちの周辺はできる限り除染すべきだと訴えています。

問 内部被曝とは、体内に取り込んだ放射性物質によって影響を受ける、特に子どもたちの周辺はできる限り除染すべきだと訴えています。

答 給食食材、プール水の検査、うがい、手洗いの徹底を実施しています。その他、米軍機低空飛行訓練の市民への影響について質問しました。

問 がん検診率の向上・安心安全なまちづくり・防災対策について

問 がん検診を二つ以上受けて健康グッズと替えられる制度を取り入れる考えを伺います。

答 ポイント制度も含め検討し、向上に努めます。

問 子宮頸がんのHPV検査導入について

答 病変の段階で早期に発見できるので導入への考えを伺います。

問 国の動向、検査体制の整備等を見ながら検討します。

通学路の安全対策について



空間放射線量測定器

問 痛みしい事故が多発しています。市内の安全点検と対策を伺います。

答 警察等との合同点検で、三十二箇所に「学童注意」等の文字、減速マーク、カーブミラーの設置など進めます。

問 市内には、国・県・市道が生活道路として使用されています。歩道の

整備について

問 整備が急務です。市の計画を伺います。

答 通学路など早急な整備の必要な所から進めています。国・県とも連携して、整備を進めます。

公共施設のガラス飛散防止について

問 こどもや市民が利用する施設の対策状況を伺います。

答 小学校で一校に飛散防止フィルムを貼っています。今後、調査し危険度の高い所から順次、改修を進めます。

その他、自主防災組織について、質問しました。

がん検診率の向上・安心安全な まちづくり・防災対策について

公明党 武者 葉子

問 歩道の整備について

答 市内には、国・県・市道が生活道路として使用されています。歩道の

整備について

問 整備が急務です。市の計画を伺います。

答 通学路など早急な整備の必要な所から進めています。国・県とも連携して、整備を進めます。

公共施設のガラス飛散防止について

問 こどもや市民が利用する施設の対策状況を伺います。

答 小学校で一校に飛散防止フィルムを貼っています。今後、調査し危険度の高い所から順次、改修を進めます。

その他、自主防災組織について、質問しました。



市内の通学路

一般会計・五つの特別会計
及び三つの事業会計決算を認定

一般会計決算

平成23年度

歳入総額 二百四十四億千六百八十四万五千八百九十三円
歳出総額 二百二十五億千八百五十九万二千六百八十五円

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、市の予算が目的どおり正しく執行され、十分な成果をあげているかなどを詳細に審査するために、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員を選任して設置された委員会です。

審査の中で行われた主な質疑は次のとおりで、それぞれ執行部から答弁がありました。
なお、答弁の内容は、紙面の都合で省略させていただきます。

一般会計歳出

【総務費】

○安中高校跡地の取得について

○東横野地区桑園跡地の購入について

○総務管理費賠償金について

○行政改革審議会について

○経済センサス活動調査について

○公共交通見直し事業について

○地上デジタルテレビ難視聴対策事業について

○街路灯管理事業について

【民生費】

○交通安全対策事業について

○地域自殺対策緊急強化事業について

○シルバー人材センター運営事業について

○被災地への職員派遣の内容について

○介護予防支援事業委託料について

○介護出向職員給与について

○在宅老人福祉対策事業配食サービス事業について

○住宅手当緊急特別措置事業について

○障害者福祉費自立支援の利用者負担について

○タクシー利用券助成事業について

○認定子ども園施設整備事業について

○社会福祉協議会補助金について

○学童クラブの委託料について

○生活保護援護事業について

○一般廃棄物処分場における放射能測定について

○ごみ処理事業について

○住宅用太陽光発電システム設置補助金について

○公害防除特別対策事業の進捗状況について

【労働費】

○勤労者協議会補助金について

○臭気防止薬剤購入事業補助金について

○農業振興対策事業について

○市民農園整備事業について

○横野平地区の今後の取り組みについて

○畜産振興整備事業補助金について

○耕作放棄地解消対策事業について

○美しい森づくり基盤整備事業について

【商工費】

○企業誘致奨励金について

○デジタル案内板について

○図書館管理運営事業について

○体育施設管理事業について

○小中学校耐震補強事業について

○社会教育総務費職員人件費について

○安政遠足マラソンについて

○教科書等購入事業について

○文化財保護管理事業について

○学校・公民館等の洋式トイレ化について

【災害費】

○災害復旧事業について

○建築指導事業委託料について

○消防施設整備事業について

○常備消防事業・非常備消防事業について

○県市町村総合事務組合負担金について

【教育費】

○図書管理運営事業について

○体育施設管理事業について

○小中学校耐震補強事業について

○社会教育総務費職員人件費について

○安政遠足マラソンについて

○消費生活センター運営事業について

○国民宿舎事業について

【土木費】

○橋りょう維持補修事業について

○道路新設改良事業について

○住宅管理事業修繕料について

○磯部駅周辺整備費について

○農産物放射性物質分析事業補助金について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○農産物放射性物質分析事業補助金について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について

○有害鳥獣対策について



消費生活センター

一般会計歳入

- 固定資産税について
- 個人市民税・法人市民税について
- 地方交付税について
- 公営住宅使用料の滞納について
- 実質収支比率の状況について
- 財政調整基金について
- 財政力指数について
- 給食費の滞納について
- 道路公共物占用料の収入未済額について
- 児童福祉費補助金の収入未済額について
- 土地売却収入について

一般会計反対討論

合併後六年目の決算は、前年度対比、歳入で〇・一八％、歳出ではともに一・七八％という減額決算になりました。性質別歳出をみると投資的経費が二六・〇二％、額にして九億千二百九万円も減となったように、市民要望、財政需要の把握が充分でなく、住民の願いに心えきれなかった決算となっております。その上、不用額が十五億四千百八十二万円余と、多額となったために、実質収支比率が十二・一％と、きわめて高くなりました。もっと市民要望の実現に力を入れるべきです。個人市民税の微増と法人市民税の大きな回復があるものの、市税全体の収入未済額の累積は深刻で膨大になっていきます。地域づくり団体との無理な裁判に結果が出て、賠償金を払っています。議員年金共済会への掛金納付をめぐり市民から批判が出されました。

一般会計賛成討論

市の将来像に掲げた「豊かな自然と歴史に包まれてひとが輝く、やすらぎのまち」の実現に向けて、編成・執行された平成二十三年度安中市一般会計の決算は、実質収支額が、十七億四千万円あまりの大幅な黒字決算となりました。これは、市税及び地方交付税などの増収でありますが、効率的な財政運営と徹底した経費節減に努めた結果と高く評価できます。主要な事業としては、市民福祉の維持増進に重点を置いた、障害者福祉対策としての二十四時間生活サポートセンター新築事業、保健衛生事業としての任意予防接種公費助成事業、継続の義務教育施設や橋りようの耐震関係事業は、市民の安全安心に配慮した事業実施です。しかし、継続となる耐震補強事業に伴う市債残高の増加等課題も多く、より効率的な財政運営が求められます。

一般会計賛成討論

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故は、多大な犠牲と被害をもたらし、日本経済に深刻な影響を及ぼしました。安中市の一般会計決算総額は、二百四十四億一千六百八十四万六千円です。実質収支額十七億四千五百五十九万九千円となり、黒字決算となりました。事業内容は、安全な市民生活の確保、福祉の充実や観光振興等に限られた財源の中で適切に対応した結果と一定の評価ができます。経常収支比率は八六・八％であり、弾力性を失いつつあると考えられます。公債費の増加は厳しい財政状況を示しており、自主財源の市税での滞納額縮小に更なる努力を要望します。少子・高齢化対策、いじめ・不登校対策、観光振興、雇用対策等の充実推進を図り、市民が安心して暮らせる環境づくり、若者が定着するまちづくりを要望します。

平成23年度 特別会計及び事業会計決算

(単位：円)

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額
安中市国民健康保険特別会計		6,893,716,422	6,876,210,659
安中市後期高齢者医療特別会計		592,708,126	590,087,787
安中市介護保険特別会計		4,669,903,287	4,625,816,869
安中市下水道事業特別会計		849,880,116	844,010,028
安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計		185,830,633	182,954,382
安中市水道事業会計	収益的	1,373,627,307	1,258,918,106
	資本的	428,066,199	938,445,035
安中市病院事業会計	収益的	2,396,120,676	2,536,978,656
	資本的	658,130,438	742,245,007
安中市介護サービス事業会計	収益的	38,629,891	40,988,991
	資本的	0	650,000

人事関係議案

人権擁護委員の任期満了に伴う推薦について、意見を求められましたので、これに同意しました。

○人権擁護委員

松井田町二軒在家

信澤 茂子様

原市

小林 きよみ様

人事関係以外の議案

○安中市防災会議条例及び安中市災害対策本部

条例の一部を改正する条例について

災害対策基本法の一部改正に伴い、安中市防災会議条例に「防災に関する重要事項の審議」が市の事務として新たに追加され、また、多様な主体の参画を図るため委員構成について学識経験者等が加えられる等、条例の一部を改正するものです。
○安中市特別業務地区建築条例の一部を改正す

る条例について

建築基準法の改正に伴い、劇場、映画館、演芸場または、観覧場のうち客席の部分の床面積の合計が二百㎡以上の建築物を建築してはならないと

している規定を削除するものです。

○土地の取得について

築瀬二子塚古墳保存整備事業用地として、土地の取得をおこなうものです。

○平成二十四年度安中市

一般会計補正予算

(第三号)

事務事業の一部について事業量の増加などにより、九千六百五十九万三千円を追加して、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ二百三十四億八千二百九十六万三千円とするものです。

○平成二十四年度安中市

国民健康保険特別会計

補正予算 (第一号)

事務事業の一部について過年度分国庫支出金に返還金が生じたため、九万七千円を追加して、補

正後の予算総額を歳入歳出それぞれ七十四億二千六百四十三万六千円とするものです。

○平成二十四年度安中市

介護保険特別会計補正

予算 (第一号)

事務事業の一部について過年度分国庫支出金等に返還金が生じたため、千八百八十七万四千円を追加して、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ五十一億七千四百八十八万四千円とするものです。

○権利の放棄について

株式会社太平洋クラブ

が提出しました民事再生法に基づく再生計画案について、東京地方裁判所から賛否の意見表示が求められており、これを認める議決権を行使したいためというものです。

この再生計画案に同意

いたしますと、債権の一部免除を認め、実質的な権利の放棄にあたることから議会の議決を求めるといふものです。

意見書案

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文書で意見具申をすることができるとのことです。

今定例会には、三件の意見書(案)が提出され、そのうち二件が可決され、ほか一件は賛成少数で否決されました。

可決されました意見書

は、内閣総理大臣をはじめ、国や県の関係省庁に送付しました。

《可決された意見書》

○産業廃棄物処理施設が過度に集中しないように立地を規制すること

を求める意見書

○電気料金の値上げに対し、見直しを求める意見書

見書

請願・陳情

皆様から提出されました請願及び陳情の審査結果は、次のとおりです。

《採択となったもの》

○市道原一八七号線拡幅

改良について

《継続審査》

○新山・出雲地区の(株)環境資源による廃棄物最終処分場(管理型)建設反対について

安中市ホームページに掲載

今号より議会だよりが安中市ホームページよりPDFファイルで閲覧できるようになりました。安中市役所ホームページ↓安中市議会↓議会だよりからご覧ください。

次の定例会(予定)

次の定例会市議会は、十二月六日から十二月十八日までの十三日間の会期で開催される予定です。

◇6日 本会議 開会、議案の上程等

◇13日 本会議 一般質問

◇14日 本会議 一般質問

◇18日 本会議 委員長報告 採決等、開会

編集後記

今夏はロンドンオリンピック、そして引き続き開催されたパラリンピックのテレビを見入った。「地域主権改革」関連条例の制定に係わる取り組みでは、市民に根ざした分権・自治の運動を盛り上げていかなければなりません。

特に介護、男女共同参画、子ども、教育など生存権や人間の尊厳、子どもの成長に深く係わるサービスについては、市民と議会の側からチェックがより求められます。

もっと分権化すべきものはないか。国の規制のために地域の思いが実現できない、といった声を上げていきましよう。(大野)

連絡先

安中市役所
議会事務局宛
☎382-1111
内線 1349番

編集委員

男雄之史子 義久 造
久貴 浩 葉貞 盛 徳
井藤 沢 林者 野藤 島
◎金 佐 柳 小 武 大 齊 中
○